



# フィリピン植林フォーラム2014 募集要項

～ フィリピン ニエバビスカヤ州 ～  
平成26年8月16日(土)～8月22日(金)



▲奥に見える山は過去ボランティアが植林を行いました

～ 現地の人々と共に汗を流し

今できることから始めませんか？ ～

## フィリピンヌエバビスカヤの森林の現状

フィリピンは 1900 年代には 70%以上も森林に覆われていましたが、森林の荒廃が進み現在は 20%程にまで減少しています。その主要な要因としては東南アジア途上国に共通する過剰な商業伐採、住民による粗放な焼畑、火入れを伴う放牧、薪炭材採取、不法伐採、農地転用等が指摘されています。

その地域のひとつであるヌエバビスカヤ州は、周辺の大きな 5 つのダムへ水を供給する中部ルソンの水源地で、灌漑用水や電力供給など地域のライフラインを支えています。しかしながら 1960 年代の過剰伐採によって 1970 年代半ばには森林はほぼ消失し、土砂崩れ、土壌流出、保水力の低下などの影響が深刻となっています。

地元の環境の荒廃に危機感を抱いたオイスカ研修生OBが立ち上がって植林プロジェクトがスタートし、現在 500ha 以上が植林されています。これまでに山梨県支部は 7 回植林ボランティアを派遣し、地元住民とともに森林再生に取り組んできました。この活動が始まった頃には植林という概念のなかったという地元住民が、今では積極的に植林や植栽後の管理に取り組んでおり、過去にボランティアが植栽した苗木も住民の管理の下、徐々に森林を形成しつつあります。しかしながら、それはまだほんの一部の場所であり、下の写真のように未だに広大なはげ山が続いている状況です。

尊い緑を再生する一助となるため、そして私たちのために今自分自身にできることから始めてみませんか？



▲木がぼつぼつとしか生えていないハゲ山が続いています

乾季には草が枯れ、赤茶けた山に ▶



### 過去参加者の声

- バスの中から見えた山々はほとんど木が生えておらず、ところどころに土砂崩れの形跡を残していて、とても唖然とした。
- 今までに植えられてきた木々が着実に成長しているのを見て感動した。私達が植えた木が大きく成長し、少しでもフィリピンの人々の暮らしに良い影響を与えることができれば嬉しいと思う。
- 学校訪問や地元住民との交流は、このようなツアーに参加にしないとできない経験であり、フィリピンの文化や言語などに触れる良い機会になった。日本とフィリピンとは環境がとても違うということを実際に行くことで知り、自分にとって良い経験になったと思う
- 様々な世代・職業の参加者や、現地の人達と交流ができて本当に良かった。中学生や村の子どもがとても素直で、その子達や現地の大人達の笑顔に何度も元気づけられた。



## 日 程

日	時間	交通	内容	宿泊
8月16日 (土)	PM 7:30頃 9:30頃 11:00	バス	甲府発 瑞穂町 羽田空港国際線ターミナル集合	
8月17日 (日)	AM1:30 4:50 PM 3:00	航空機 バス	羽田発 マニラ着 ヌエバビスカヤへ 到着後、オリエンテーション等	バンブーハウス (希望者はホテル)
8月18日 (月)	終日		植林作業	〃
8月19日 (火)	午前 午後	ジープニー	学校訪問等 ソラノにてマーケットの視察	〃
8月20日 (水)	午前 午後	バン	バナウエ等観光 カバナトゥアンへ	マイクロテルホ テル
8月21日 (木)	午前 午後	バス	マニラへ マニラ、周辺地区観光	パビリオンホテ ル
8月22日 (金)	午前 PM 2:30 7:55	バス 航空機 バス	オイスカマニラ事務所訪問 マニラ発 成田着 バスにて瑞穂町、山梨 へ	

※現地の状況等により変更になる場合があります。往路の飛行機は深夜に出発します。



▲ 昨年の植林作業



▲ 学校訪問にて中学生達と交流

## 過去の植林フォーラム実施国

1992 マレーシア サバ	1998・1999・2000 タイ チャンタブリ
1993 タイ ランプーン	2001・2002・2004 ベトナム カンザー
1994 フィリピン ヌエバビスカヤ・ダバオ	2005・2006・2007 タイ ラノー
1995 フィリピン パラワン島	2008・2009・2010 フィリピン ヌエバビスカヤ
1996 マレーシア クランタン	2011 内モンゴル
1997 フィリピン ヌエバビスカヤ	2012・2013 フィリピン ヌエバビスカヤ

## 募集要項

**募集人数** 20名

**参加資格** 中学生以上の健康な男女  
(但し18歳未満は保護者の同意が必要)

**参加費** 一般¥180,000円 (学生 145,000円)  
※バンブーハウスではなくホテルに宿泊を希望する方は、3泊で別途  
¥12,000が必要になります。

✚ 本事業は、公益財団法人山梨県緑化推進機構、一般財団法人山梨県  
森林土木コンサルタントより助成を受けて実施します。

### 参加費に含まれるもの

航空運賃、空港使用料、現地空港税、旅程表に明記された滞在中の宿泊・食事・交通  
費、植林費用、海外旅行団体保険(怪我、疾病等の保険は含まれません)山梨～空  
港間往復バス代

### 参加費に含まれないもの

パスポート取得費、電話代、飲み物代、チップ、個人海外保険費用、その他個人的  
費用(保護者が同行しない15歳未満の方は別途申請が必要です。)

**キャンセル料** 平成26年7月 7日以降に発生します。

**申込締切** 平成26年5月16日(金)  
(締切日以降でもお申込みを受け付けられる場合がございます。)

### 出発までの予定

- 6月中旬～下旬 第1回事前学習会  
(旅行説明・現地状況報告など)
- 7月下旬～8月上旬 第2回事前学習会

<b>旅行企画・実施</b>	富士急トラベル株式会社(観光庁長官登録旅行業第101号)
<b>共同企画</b>	(公財)オイスカ山梨県支部
<b>旅行取扱・申込先</b>	富士急トラベル株式会社 TEL:03-5302-0200・FAX:03-5302-0201
<b>企画問い合わせ</b>	(公財)オイスカ山梨県支部 〒400-0032 山梨県甲府市中央4-11-9 TEL・FAX 055-231-6699 E-mail oisca055@axel.ocn.ne.jp

